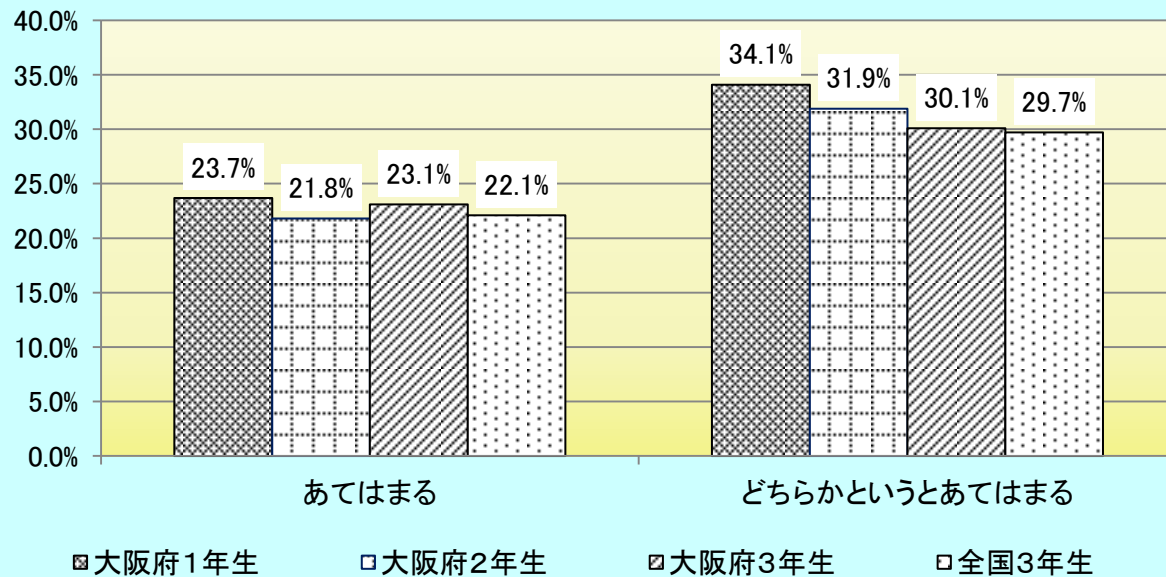
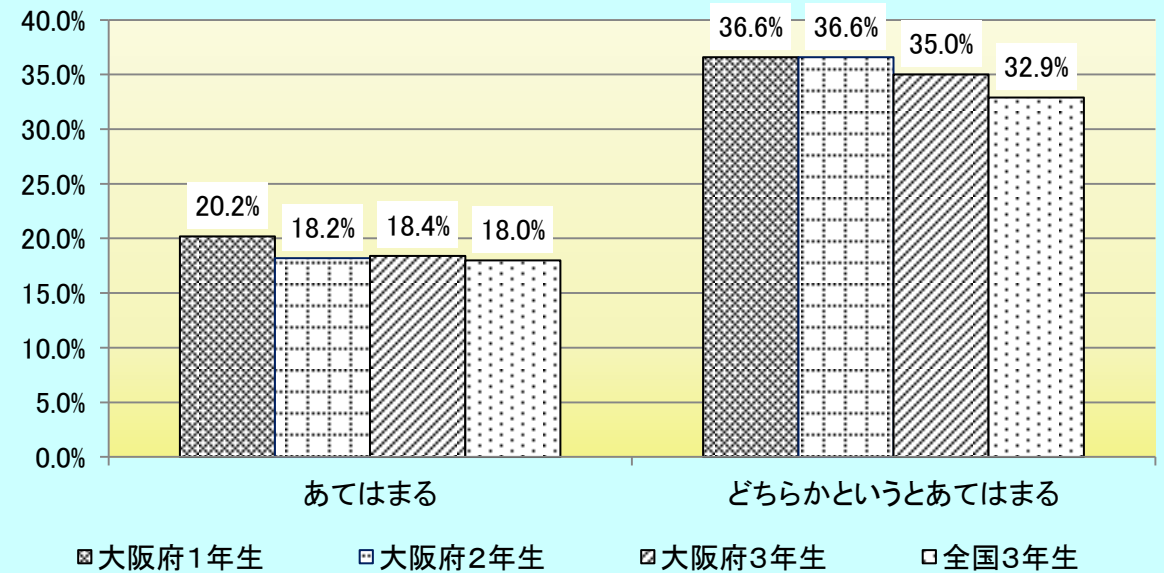


平成24年度末に「使える英語プロジェクト事業」実践研究校すべてで、質問紙調査(生徒アンケート)を実施しました。各グラフはその結果の概要を示したものです。英語に対する興味・関心や学習意欲は国立教育政策研究所が実施した全国的な調査の結果からみて、中学1年生、2年生、3年生ともに概ね良好な結果となっています。

Q1 英語は好きだ

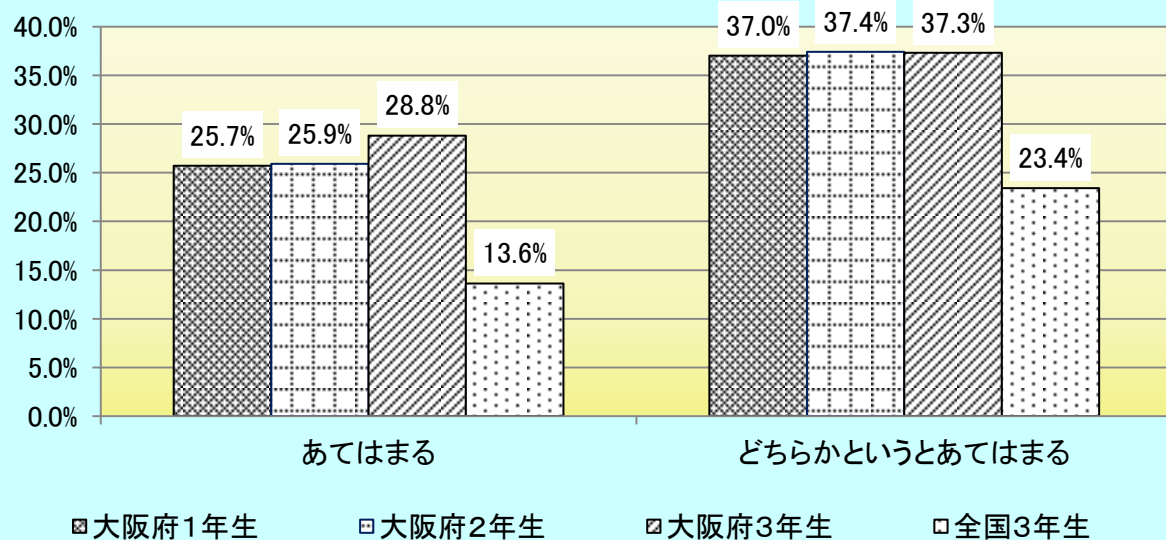


Q2 英語の授業は好きだ

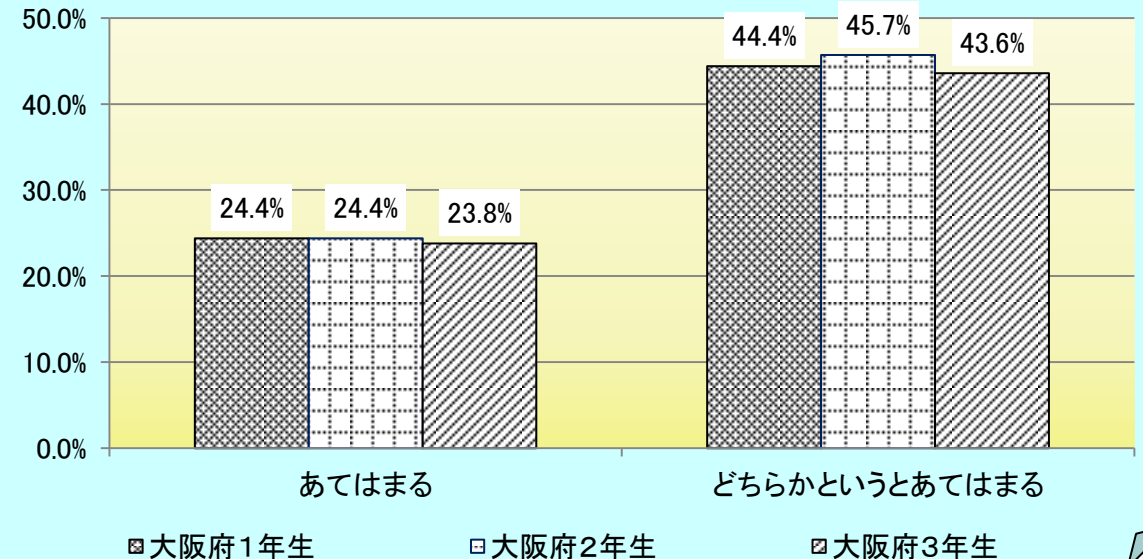


Q3 英語の授業中のALTとのコミュニケーションは楽しい

* 全国結果は類似の問いを反映:「自分の伝えたいことを英語で話す学習は好きですか」

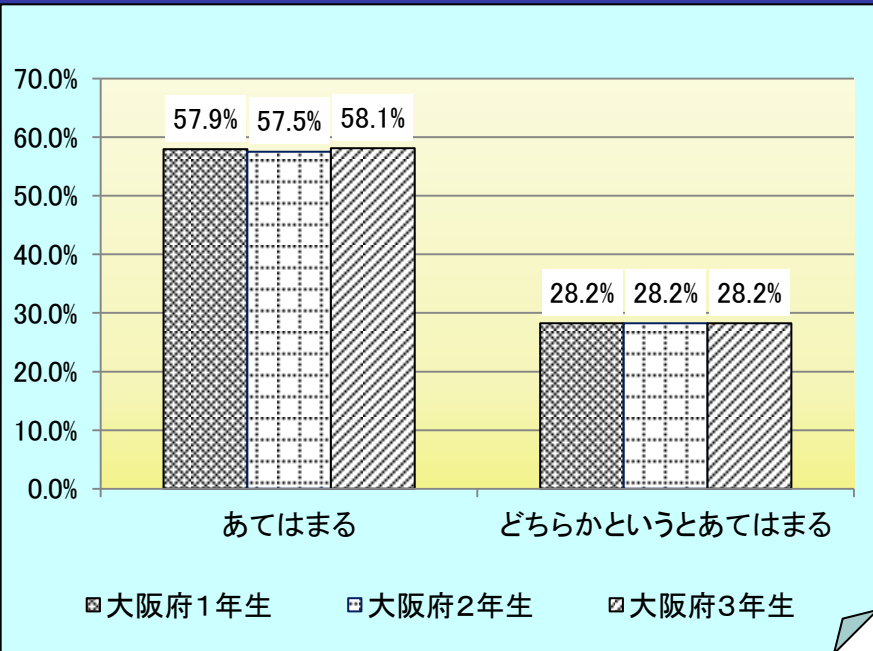


Q4 英語の授業に積極的に参加している



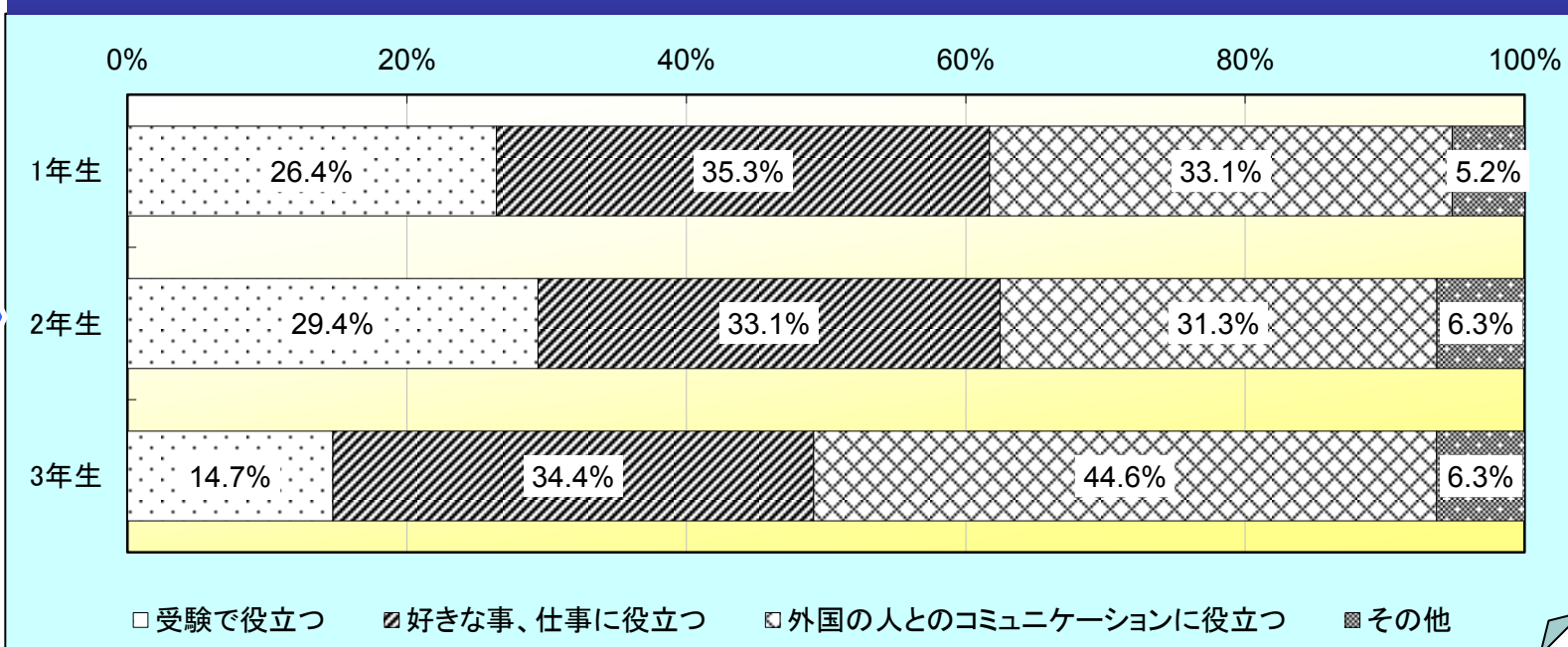
「英語が使えるようになること」に対する肯定感については、各学年ともに概ね良好な結果となっています。3年生は他学年に比べて、「英語が大切だと思う」と答えた理由については「コミュニケーションに役立つ」と回答している割合が多く、「将来英語が必要」と答えた理由については、「好きな事、仕事に役立つ」と回答している割合が多くなっています。

Q5 英語が使えるようになることは、大切だと思う

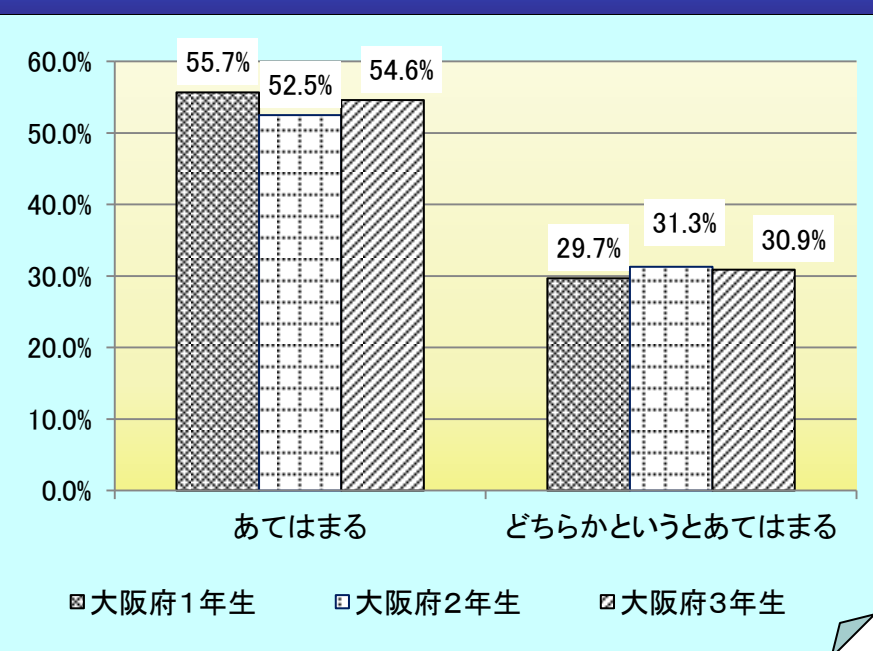


Q6 英語が使えるようになることは、大切だと思う理由を1つ回答してください

* Q5で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒が回答



Q7 英語が使えるようになることは、将来、必要だと思う



Q8 英語が使えるようになることは、将来、必要だと思う理由を1つ回答してください

* Q7で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童が回答

